

# 和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2015

(平成 27 年度)





はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。岸和田サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）・大学院経済学研究科授業および専門研究・公開講座等を開講・実施し、地域のみなさんに高等教育・生涯学習の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究や連携事業を展開しています。

2015年度は、本学と岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン2014－2023、同アクションプラン2015－2017」に沿って、戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、本学と岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしく願いいたします。

2016年3月

和歌山大学岸和田サテライト長 藤田 和史（経済学部准教授）

## 事業体系表

(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を 発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
						1-1-3	文化・教養型授業の開講
				1-2	学習環境の充実	1-2-1	学習環境の充実
II	市民の生涯学習活 動をサポートして いる	2	生涯学習機会の 提供	2-1	わだいなぎサロ ンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の 開催	2-2-1	セミナー等の開催
						3	地域研究事業
III	地域課題の発見と 解決・大学の知的 資源と住民の交流 をサポートしてい る	4	各種連携	4-1	各種連携	4-1-1	学校教育分野の連携促進
						4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の 連携促進
						4-1-3	連携ひろば「ワダイ×キンワダ」の運営
				4-2	岸和田サテライ ト友の会への 支援	4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携
IV	持続可能な連携組 織となっている	5	組織体制・財政	5-1	戦略的な組織 体制	5-1-1	地域連携推進協議会の充実
						5-1-2	大学の連携体制の強化
						5-1-3	市の連携体制の強化
				5-2	事務局機能の 充実	5-2-1	事務局機能の充実
				5-3	財政運営	5-3-1	持続可能な財政運営の検討
				5-4	効果的な広報 活動	5-4-1	多様なチャンネルによる戦略的 広報の実施
		6	事業立地	6-1	事業立地	6-1-1	事業立地の検討

## 目 次

事業体系表（和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類）

1	高等教育事業	
(1)	学部開放授業	1
(2)	大学院授業	3
(3)	大学院経済学研究科修士課程	4
(4)	学習環境の充実	4
2	生涯学習機会の提供	
(1)	わだい浪切サロン	5
3	地域研究事業	
(1)	「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究 ー岸和田市を中心にー」	8
(2)	岸和田市山手のまちづくり研究	9
(3)	地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー	10
4	各種連携	
(1)	学校教育分野	11
(2)	生涯学習・まちづくり分野	13
(3)	岸和田サテライト友の会の活動支援	15
5	組織体制・事務局機能	
(1)	組織的な連携推進	18
(2)	地域連携コーディネーターの活動	20
(3)	広報活動・各種協力	21
(4)	地域からの問い合わせ対応	23

## 資料編

開講授業科目一覧／履修・受講のべ人数の推移／授業アンケート結果／わだい浪切サロン男女別参加者数・割合の推移／わだい浪切サロン居住地別参加者数・割合の推移／わだい浪切サロン新規参加者数・割合の推移／事業告知チラシ／岸和田市附属機関委員等の就任状況／和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿／和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿／連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿／和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿／活動記録



## 1 高等教育事業 目指す姿 I : 高等教育機能を発揮している

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2015年度は、学部開放授業4科目と大学院授業8科目を開講し、受講・履修者はのべ162名でした。授業は、土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講しています。

### (1) 学部開放授業

（「教養の森」センター）

18歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。〈地域課題探求型科目〉、〈文化・教養型科目〉の2系統の授業を開講し、社会人と本学学部生が履修しています。

学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
前期	市民活動の歴史と課題 〈地域課題探求型科目〉	教育 経済	越野 章史 准教授 中島 正博 准教授	14 (2)
	漱石と大阪 〈文化・教養型科目〉	非常勤講師	恩田 雅和 氏 (天満天神繁昌亭支配人)	18 (4)

(内：学部学生数)

#### ■ 「市民活動の歴史と課題」

第1～3回（担当：越野先生）では、日本の明治～現代における市民活動・運動（自由民権運動・水俣病・平和運動）を取り上げました。第4～6回（担当：中島先生）では、近年の市民活動・運動を地元学の視点で学び、第5回では岸和田市社会福祉協議会からゲストを招き、地域が抱える問題・課題についてお話しいただきました。最終回は、市内を歩くフィールドワークをおこないました。（写真上）



#### ■ 「漱石と大阪」

文豪夏目漱石は、生涯に4回大阪を訪れています。授業では、その背景や作品に及ぼした影響を辿るとともに、漱石が愛好した寄席や落語の世界についても取り上げました。現地学習では、浜寺公園と妙国寺（堺市）、天満天神繁昌亭（大阪市）を訪問・見学しました。（写真下）



学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
後期	地図で地域をみる・発信する  <地域課題探求型科目>	経済 システム工学 非常勤講師	藤田 和史 准教授 原 祐二 准教授 西村 雄一郎 氏 (奈良女子大学)	28 (9)
	身の回りのデジタル機器のしくみ  <文化・教養型科目>	システム工学	土谷 茂樹 教授 長瀬 賢二 教授 野村 孝徳 教授 村田 頼信 准教授 鈴木 新 講師 松本 正行 教授	24 (17)

(内：学部学生数)

#### ■地図で地域をみる・発信する

地形図・GIS（地理情報システム）の基礎知識に関する講義に続いて、OpenStreetMap（ウェブ上で自由に編集・利用できる地図）と localwiki（ウェブ上での地域情報の編集・発信）にチャレンジしました。実習では、GPS ロガー（移動経路を記録する器具）を持ってまち歩きをおこない、写真やオリジナルのコメントなどを取り込んで地域の情報を発信しました。地図という媒体をまちづくりや地域づくりに応用する方法を学びました。



#### ■身の回りのデジタル機器のしくみ

身近にある様々な AV 機器や情報機器を取り上げ、その構造や働きを学びました。普段の生活で使用するほとんどの機器にはマイクロコンピューターが搭載され、そのおかげで多くの機能が備わっています。6名の先生方により、特別な専門知識をもたない人にも理解できるよう工夫された授業になりました。



(2) 大学院授業

(経済学部研究科)

大学院授業では、経済学研究科による〈高度職業人養成型科目〉、〈地域課題探求型科目〉を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目の一部は、(大阪市、堺市を除く)大阪府内地方自治体職員の研究研修事業(マッセ OSKA「地方分権ゼミナール」)としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	租税法英米判例特殊問題	片山 直子 教授 佐古 麻理 非常勤講師	5 (4)
	相続税法特殊問題	片山 直子 教授	15 (12)
	法人税法特殊問題	林 幸一 非常勤講師	7 (4)
	民事紛争とその法的解決※	吉田 雅章 准教授	18 (12)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	簿記論特殊問題	山田 恵一 准教授	7 (7)
	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	8 (4)
	国税通則法特殊問題	片山 直子 教授	9 (8)
	政策形成論 —社会や組織の問題解決のための論理的思考法入門—※	江口 雅祥 非常勤講師	9 (5)

(※は地域課題探求型科目、その他は高度職業人養成型科目)

(内：大学院生数)



「租税法実務特殊問題」



「政策形成論 —社会や組織の問題解決のための論理的思考法入門—」

### (3) 大学院経済学研究科修士課程

2015年度、税理士を目指す13名の院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導を受けました。(M1:6名、M2:7名)

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究 I	片山 直子 教授	1
通年	専門研究 I・IIおよび修士論文	渡邊 英之 教授	12

### (4) 学習環境の充実

#### ■サテライト図書資料

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税大学院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。2015年度は、購入図書26冊、その他各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などの受け入れがありました。



#### ■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2014年4月～2015年3月に429件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



## 2 生涯学習機会の提供 目指す姿Ⅱ：市民の生涯学習活動をサポートしている

### (1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜(2月と8月を除く)、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習と交流の機会として定着しています。

(所属・職名は当時)

回	月日	内 容	話題提供者(所属)	参加数
71	4. 15	地域からの学び その魅力と魔力 —「夢の種を蒔く学校と地域社会」のエピローグ—	阿部 英之助 特任准教授 (教育学部)	25
72	5. 20	世界的博物学者南方熊楠から何を学ぶか	谷脇 幹雄 氏 (南方熊楠記念館館長)	74
73	6. 17	地元の自然とともに —二十歳のきしわだ自然資料館—	風間 美穂 氏 (きしわだ自然資料館学芸員)	49
74	7. 15	人工知能が浸透する情報システムの未来	瀧 寛和 学長	61
75	9. 16	都市の情景 —文学にみる格差問題と労働—	前川 真行 氏 (大阪府立大学准教授)	25
76	10. 21	消えゆくことばを追って —言語消滅の危機に対して私たちができること—	遠藤 史 地域連携・生涯学習センター長/教授(経済学部)	45
77	11. 18	オープンデータと地域振興	満田 成紀 准教授 (システム工学部)	41
78	12. 16	思春期の心との向かい方	則定 百合子 准教授 (教育学部)	50
79	1. 20	憲法判例からみる日本国憲法の現状	森口 佳樹 教授 (副学長・経済学部)	64
80	3. 16	ワイドショーより面白い幕末明治の浮世絵	菅原 真弓 准教授 (「教養の森」センター)	94

年間参加者合計 528名

「わだいな浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 第71回「地域からの学び その魅力と魔力」

- ・農業だけでなく、支援学校との連携や行政的な課題に触れるなど、様々な模索を知ることができ、予想より面白いと思える講演でした。(40代男性)
- ・フィールドワークはただ調査するだけではなく、結果を社会的に還元することが重要であると認識することができました。(40代男性)
- ・今までにもありましたが、浪切サロンから発展した講義を創設していただくとありがたいです。(40代男性)



◆ 第72回「世界的博物学者南方熊楠から何を学ぶか」

- ・南方熊楠の時代には、海外に行くにも船、学術研究も書き写しからはじまり、自然を守るために奔走され、今更ながらすごい方だと思いました。好奇心と行動力で広く深く追求し、研究を後世に残した熊楠。とてもインスパイアされました。(女性)
- ・博物館のできた経緯をはじめ、ビデオを交えて人物像も語られ、時間が経つのを忘れるくらい楽しい時間でした。(40代男性)



◆ 第73回「地元の自然とともに ―二十歳のきしわだ自然資料館―」

- ・とても丁寧に詳しい説明で聞きやすかったです。きしわだ自然資料館には小さい頃何度か行ったことがあります。ここまで様々な活動をしていたとは知りませんでした。今は大学生になって、当時と見方が変わったと思うので、改めて行ってみようと思いました。(10代男性)
- ・私は博物館学芸員の資格をとるために、ミュージアム学を学んでいます。最近、子どもたち（未来の来館者）をいかに増やすかということに勉強したばかりで、今日お話しいただいた子ども向けの企画はすごく勉強になりました。(10代女性)



◆ 第74回「人工知能が浸透する情報システムの未来」

- ・話の内容に引き込まれ、いい勉強になりました。質問にも噛み砕いて回答されたので、わかりやすかったです。(40代女性)
- ・見間違い、聞き間違い、間違いを探すことはコンピュータ（人工知能）は得意だと思うが、創造する分野はどうでしょうか。レベルはまだ低いのでしょうか。(70代男性)
- ・お金持ちの人が、人に優しい人工知能に投資しているというところが面白かった。(30代男性)



◆ 第75回「都市の情景」

- ・事前の予想とは結構違った、やや暗い部分が描かれた小説を基調に進められたことに触発された気がしました。(40代男性)
- ・文学作品の書かれた時代の社会経済情勢を研究しながら作品を読むことで理解が生まれてくると思いました。(60代男性)



◆ 第76回「消えゆくことばを追って」

- ・言語消滅は意外と簡単に起こるとというのが耳に残りました。極端に言えば、1世代で消滅してしまう。言語をおろそかにすることの怖さを感じました。また、フィールドワークの楽しさや苦しさ、意図から逸れたことが起こってもそれを理解に活かしていくところなどが興味深く思いました。(40代男性)
- ・少数の人しか話さないユカギール語を研究するに際して、辞書もないゼロからの研究が大変だったと思います。(60代男性)



◆ 第77回「オープンデータと地域振興」

- ・行政の職員ですが、”オープンデータ”という言葉すらきちんと理解していませんでした。職員にも共有し、地域の課題解決に活かしていけるよう、初めの一步を踏み出していきたいと思えます。(30代女性)
- ・データを公開することで、バラバラの情報をまとめたりして問題を見えるようにし、人々が動くきっかけになることがわかりました。(40代男性)



◆ 第78回「思春期の心との向かい方」

- ・アイデンティティの確立なく大人になることが、親としての自覚や子育ての不安に影響し、それが子どもに伝わってきているのだと思います。(60代)
- ・流動化する現代、我々大人にも思春期性があるようにも思えた点が興味深かった。(40代男性)



◆ 第79回「憲法判例からみる日本国憲法の現状」

- ・日本国憲法は難しいと思って参加しましたが、判例を中心に講義していただき、理解しやすかったです。先生のお話をお聞きして、憲法や民法、地方自治法を読んでもみようと思えるようになりました。(20代女性)
- ・本日の講演に際し、事前に憲法を読み直す機会ができて有難かった。社会実務に即応した内容であり、よかったです。(70代男性)



◆ 第80回「ワイドショーより面白い幕末明治の浮世絵」

- ・教科書で習ったような浮世絵の話題ではなく、一般庶民の暮らしや災害、流行、考え方を絵によって広く伝えていることがわかりました。(40代男性)
- ・江戸から明治の浮世絵や錦絵は、今のワイドショーと違って、笑いを誘い、みんなを元気にする、昔の人のパワーを感じました。(30代女性)



### 3 地域研究事業

#### 目指す姿Ⅲ：地域課題の解決と大学の知的資源と住民の交流をサポートしている

高等教育事業（学部開放授業、大学院授業）や生涯学習事業「わだいな浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを2012年度から実施しているほか、学内公募型プロジェクトによる地域研究事業等をおこなっています。

#### (1) 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究－岸和田市を中心に－」

(平成26年度・27年度地域課題研究型プログラム)

昨今の少子化の進展による児童・生徒数の減少にともなう複式学級化や学校統廃合などの課題を背景に、岸和田市においても早い段階での準備を進める必要があると考えられることから、本学名誉教授久保富三夫氏を助言者として迎え、和歌山大学岸和田サテライト、岸和田市教育委員会学校教育課、岸和田市政策企画課による研究会を組織しました。

研究会では、少子化による全国的な傾向と市内市立学校の現状および将来予測について、各種統計データに基づく確認と整理を行い、小規模特認校化の検討を含む今後の展望にふれつつ、本研究のまとめとして報告書を作成しました。



#### ○出席者

助言者：	久保 富三夫 氏（帝塚山学院大学教授/和歌山大学名誉教授）
和歌山大学：	藤田 和史（経済学部准教授/岸和田サテライト長） 西田 喜一（地域連携コーディネーター） 神谷 千春（地域連携コーディネーター）
岸和田市：	松村 慎治 学校教育課長 川田 智子 指導主事 橋本 純（政策企画課） 井元 智美（政策企画課）

#### ○研究会等開催（2015年度）

6月4日（岸和田市役所）  
7月10日（岸和田市役所）  
10月5日（岸和田市役所）  
11月9日（岸和田市役所）  
1月18日 久保教授による庁内レク（岸和田市職員会館）  
3月22日（岸和田市役所）

## (2) 「岸和田市山手のまちづくり研究」

(平成 26 年度和歌山大学独創的研究支援プロジェクト:「エリアマネジメント組織との連携による実践型まちづくりに関する研究」)

少子高齢化社会における地域の集落・コミュニティの維持についての問題意識の下、和歌山大学と岸和田市都市計画課の協働による 2 年間(平成 26 年度～27 年度)の研究事業が終了しました。研究会では、岸和田市の市街化調整区域の地域的性格・都市近郊農業の現状等をふまえた基礎的調査に続いて、住民の地域での生活の現状や定住意向を探るパイロット調査(ヒアリング調査)、市街化調整区域のまちづくりの先行事例である兵庫県加古川市への視察調査を行い、これらの成果を報告書にまとめました。

岸和田サテライトと岸和田市政策企画課は、学内および市内の各種調整とともに研究会活動全般のサポートを行いました。



### ○出席者 (2015 年度)

和歌山大学:

堀田 祐三子 観光学部教授  
金子 泰純 システム工学部教授  
藤田 和史 経済学部准教授/サテライト長  
神谷 千春 地域連携コーディネーター  
西田 喜一 地域連携コーディネーター

岸和田市:

渡邊 光司 (都市計画課)  
小竹 雄介 (都市計画課)  
橋本 純 (政策企画課)  
井元 智美 (政策企画課)

### ○開催 (2015 年度)

5 月 15 日 第 5 回研究会 (和歌山大学)  
6 月 15 日 第 6 回研究会 (和歌山大学)  
6 月 22 日 第 7 回研究会 (現地事前調査: 岸和田市)  
7 月 13 日 ヒアリング調査 (岸和田市職員会館)  
10 月 1 日 第 8 回研究会 (和歌山大学)  
10 月 29 日 第 9 回研究会 (和歌山大学)  
11 月 27 日 加古川市視察調査

### (3) 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー（地域連携・生涯学習センター）

和歌山大学地域連携・生涯学習センターは、地域発展のための主体的力量形成に貢献する学習内容と実施のあり方を探求する「地域学習発展プログラムの開発と実施に関するセミナー」（岸和田会場）を毎年開催しています。

2015年度は、「地域の課題解決に向き合う学びの創造と自治の担い手形成～人口減少社会・社会教育施設と職員の役割～」をテーマとして、基調講演とパネルディスカッションを実施しました。（共催：岸和田市・岸和田市教育委員会、後援：岸和田サテライト友の会）

#### ■ 「地域の課題解決に向き合う学びの創造と自治の担い手形成 ～人口減少社会・社会教育施設と職員の役割～」

○開催 2016年1月30日（土）13時～16時半（岸和田市立浪切ホール特別会議室）

○参加者 57名

○内容

- 第一部 基調講演 「地域の課題解決に向き合う学びの創造と自治の担い手形成」  
講師：上野 景三 氏（佐賀大学文化教育学部教授）
- 第二部 事例紹介 大塚 和弘 氏（泉大津市教育委員会生涯学習課スポーツ青少年係長）  
佐藤 律子 氏（和歌山県橋本市社会教育委員会議議長）  
松阪 正登 氏（岸和田市教育委員会生涯学習部長）  
佐藤 秀雄 氏（文部科学省社会教育課課長補佐）
- コメンター 浅野 秀重 氏（金沢大学地域連携センター教授）
- コーディネーター 村田 和子（和歌山大学地域連携・生涯学習センター教授）



## 4 各種連携

### 目指す姿Ⅲ：地域課題の解決・大学の知的資源と住民の知的交流をサポートしている

#### (1) 学校教育分野

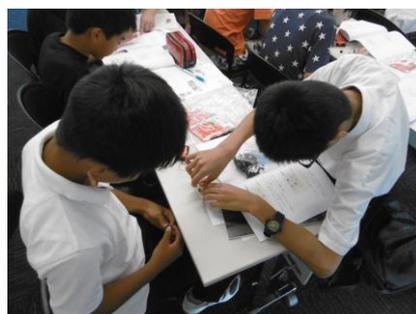
##### ■高等学校からの大学見学・懇談（経済学部・岸和田市立産業高等学校）

7月10日、岸和田市立産業高等学校の教諭と生徒が和歌山大学経済学部（栄谷キャンパス）を訪問しました。経済学部教員による学部紹介、大講義室での授業やゼミ体験に続いて、岸和田市立産業高校出身の在学生との懇談をおこないました。



##### ■大阪中学生サマーセミナー（協働教育センター）

8月4日、浪切ホールにて、大学コンソーシアム大阪および南大阪地域大学コンソーシアム「大阪中学生サマーセミナー」を開催し、本学協働教育センター（クリエ）が中学生を対象に科学教室「電子工作」を担当しました。近隣の中学生約20名が参加しました。



##### ■高等学校への出張授業（大阪府立岸和田高等学校）

生徒に大学の授業にふれてもらい、今後の進路選択につなげてもらうという目的で、藤田和史経済学部准教授と吉田道代観光学部教授が講義を担当しました。そのうち、藤田准教授は、「グローバル化と地域・産業を」テーマに2年生25名に授業をおこないました。



---

■岸和田市教育委員会との連携（教育学部ほか）

本学教育学部の米澤好史教授、豊田充崇教授、山本奈美准教授、防災研究教育センター今西客員教授により、市内小中学校での生活指導・学力向上・特別支援等の分野における研修・助言・授業研究等、約 20 件の協力を行いました。

■和歌山大学教員免許状更新講習（岸和田会場）

平成 27 年度和歌山大学教員免許状更新講習のうち、必修講習 1 科目を岸和田会場となる岸和田市立産業高等学校で実施しました。155 名の地域の学校教員の方々が受講しました。

## (2) 生涯学習分野・まちづくり分野

### ■岸和田市イメージ調査（岸和田市政策企画課）

岸和田市総合戦略策定に当たって、市内外の若者が岸和田市に対して持っているイメージや意見を聴取するアンケート調査が本学の大学会館内で行われました。岸和田市政策企画課職員が待機するコーナーには54名の学生が立ち寄り、回答に協力しました。学生からは、アンケート回答のほか、市役所職員の仕事についての質問なども出ました。

(6月30日)



### ■岸和田市議会議員研修（岸和田市議会）

藤田和史経済学部准教授が「事情と事例で考える企業誘致－5W1Hで整理する－」をテーマに研修講師を務めました。過去から現在に至る企業誘致施策について、また、現在進められている地方創生との関係についてもお話ししました。(8月7日)



### ■「地域調査研究」フィールドワーク（経済学部）

食品・流通をテーマとしたフィールドワークとして、経済学部授業「地域調査研究」を履修する学生が岸和田市内の事業を訪問しました。学生に加えて、岸和田サテライト友の会会員有志も参加し、交流しながら見学しました。(2月15日～17日)

#### 【協力企業・団体等】(敬称略)

2月15日

- ・泉州卸売商業団地
- ・岸和田中央青果株式会社

2月16日

- ・岸和田市漁業協同組合
- ・株式会社米麦館タマヤ

2月17日

- ・蛸地藏商店街
- ・フードショップフジモト



---

■ 「連携ひろばワダイ×キシワダ」第1回交流会

岸和田市内の事業所・団体の会員からなるサテライトを拠点とした交流促進組織「連携ひろばワダイ×キシワダ」の第1回交流会を開催しました。第1回は、いずみの農業協同組合、浪切ホール、ラヂオきしわだ、岸和田サテライト友の会より出席いただき、岸和田市政策企画課と岸和田サテライトが進行を務めました。(2月13日)



### (3) 岸和田サテライト友の会の活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講者（授業・「わだい浪切サロン」）の同窓会的組織です。会員の自主的企画運営による夏季および冬季講演会、岸和田市民フェスティバル出展、岸和田市市民活動ステーション出展に際して、事務局の岸和田サテライトは各種の支援・協力をおこないました。

#### ■夏季講演会

○開催 7月25日（土）14時～16時20分（浪切ホール研修室）

○内容

講演： 「相続制度と相続税・贈与税のあらまし」

講師： 田中 将 氏（大阪学院大学法学研究科教授/元和歌山大学客員准教授）

○参加者 39名（友の会会員、一般参加者）



参加者アンケートより

- ・今後の大学院授業の受講をするうえで、田中先生の講演が非常に参考になりました。FP資格を取得しているため、家族、友人からの相談を受ける（ボランティア）ことが多いので、今後にかしたいと思います。
- ・相続税の概要、実情に即した内容の講義は大変有意義な内容でした。
- ・友の会の活動内容が年々豊富になっているのに敬意を表します。新役員の方々の今後の活躍に期待します。ご苦労ですがよろしくお願いいたします。
- ・質問時間がもっとあっても良かった。高齢者にとっては、一般的事項ゆえ大変良かったです。

#### ■冬季講演会

○開催 2016年2月13日（土）14時～16時15分（浪切ホール研修室）

○内容

講演1 「地図のチカラ！GIS(地理情報システム)と防災・まちづくり」

講師： 照元 清峰 氏（人と防災未来センター研究主幹）

講演2 「岸和田市の耐震化の取り組み」

講師： 中村 公亮 氏（岸和田市まちづくり推進部建設指導課）

○参加者 47名（友の会会員、一般参加者）



参加者アンケートより

(講演 1)

- ・ GIS を利用した防災教育の有効性を感じました。防災教育の 3 つの領域を今後習得できるよう努めたいと思いました。
- ・ 小学生が防災やコミュニティづくりのかなめになると感じました。
- ・ 具体的な地図の使い方、落とし込み方の詳しい話が聞きたかった。

(講演 2)

- ・ 岸和田市は耐震化行政の先駆者と感心した。また、金額評価での説明で理解しやすかった。
- ・ 岸和田に住んでいながら、市の取り組みについて全く知りませんでした。先進的で良い取り組みはどんどん広報していただきたいと思います。
- ・ 今回のテーマは、もっと広く岸和田市民の方に広く広報してください。

#### ■ 第 38 回岸和田市民フェスティバル

(協力：今西 武 防災研究教育センター客員教授、岸和田市危機管理課)

○開催 5 月 3 日 (祝) (岸和田市中央公園)

○内容 「備えていますか？自分のために」

展示と説明： 災害時のツナ缶ランプ実演・手回し発電機、非常持ち出し袋、ソーラークッカー等

製作体験： 新聞紙とペットシートを使った「マイトイレ」・ゴミ袋のカップ

パネル展示： 岸和田市ハザードマップ等のパネル、広島市土砂災害・避難所写真(危機管理課より借用)、岸和田サテライトの事業内容等

○参加者 約 460 名 (うち製作体験 101 名)



---

■市民活動ステーション拡大版(コラボラ) (岸和田市立産業会館)

岸和田市で活動する団体が活動をPRするパネル展に出展し、会の活動紹介やサテライト事業の内容紹介をおこないました。

(2月20日)



■友の会幹事会

夏季・冬季講演会の企画や市民フェスティバル参加等に向けて、1～2ヵ月ごとに幹事会を開催し、役員とサテライトスタッフが協力して運営をおこないました。



## 5 組織体制・事務局機能 目指す姿Ⅳ：持続可能な連携組織となっている

### (1) 組織的な連携推進

◆地域連携戦略ビジョン・アクションプランに基づく事業実施  
2014年度和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン（2014-2023）」、「同アクションプラン（2014-2016）」が承認されました。2015年度は、2014年度の事業評価に基きローリング方式で更新したアクションプラン（2015-2017）に沿って事業を実施しました。



◆ローリング方式によるアクションプランの更新  
2015年度の事業実施状況についても、年度末に評価シートを用いて検証をおこないました。4つの「目指す姿」のもと、11の各事業項目について、定量的・定性的評価をおこない、抽出した課題は次年度のアクションプラン（2016-2018）へ反映させました。



#### ■第18回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

6月8日、瀧 寛和 和歌山大学長、信貴 芳則 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。2014年度事業報告、2015年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、大学と市の連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。（岸和田市役所）



#### ■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2015年度は4回開催しました。

第1回 4月22日（岸和田市役所）

第2回 10月26日（和歌山大学）

第3回 12月25日（岸和田市役所）

第4回 2016年3月24日（和歌山大学）



#### ■調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で担当者レベルの調整会議を実施しています。

---

■岸和田市協働推進チーム会議

岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などの月例会議に参加しました。

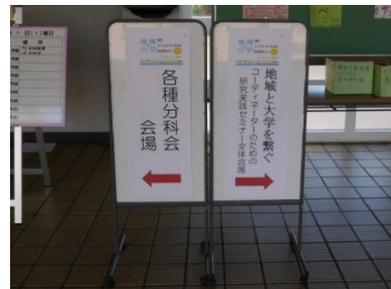


## (2) 地域連携コーディネーターの活動

### ■第4回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー

大学の地域連携にかかわる教職員の研究研修事業として、和歌山大学地域連携・生涯学習センターの主催による合宿形式のセミナーを長野大学（上田市）において開催しました。

本学からは、岸和田サテライト長、地域連携コーディネーター、地域連携・生涯学習センター長、同副センター長、同専任教員が出席しました。（9月11日・12日）



### ■大阪府立大学「地域文化学」との連携

「大学と地域の連携について -岸和田サテライトの取り組みとコーディネーターの役割-」と題して、西田喜一地域連携コーディネーターが大阪府立大学Uホール白鷺において発表を行いました。サテライトの事業を紹介し、サテライト事業を通じて「大学と地域の連携とは何か」を考え、そこでの地域連携コーディネーターの役割や課題、今後求められるものについて発表しました。（11月12日）



### ■岸和田市自治基本条例・協働推進員会議での報告

岸和田市の自治基本条例には、「市民と事業者と市の協働によるまちづくり」が掲げられています。自治基本条例の推進委員（岸和田市職員）を対象とした研修において、「自治体と大学との連携事例」と題して、岸和田市政策企画課と岸和田サテライトから報告をおこないました。

（3月4日）



### (3) 広報活動・各種協力

#### ■ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログ・Facebook ページにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。

#### ■「岸和田サテライト通信」発行

サテライトの事業を定期的に学内外に紹介するために、「岸和田サテライト通信」(vol. 17-19) を発行しました。授業や「わだいな浪切サロン」での配布や、ホームページ掲載によってお知らせしています。



#### ■岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

岸和田商工会議所の会報『きしわだ所報』に本学教員の連載コラムを掲載しました。  
 「ばらつきのはなし -品質と健康-」 鈴木 新 システム工学部講師 (2015年4月号～9月号)  
 「世界は「管理会計」でできている」 妹尾 剛好 経済学部准教授 (10月号～2016年3月号)



#### ■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだいな浪切サロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しました。



#### ■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



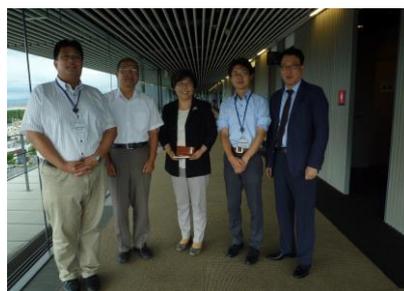
■和歌山大学説明会（入試課・各学部）

岸和田市立浪切ホールにて「和歌山大学説明会 in 岸和田」を開催し、地域の高校生、保護者など77名の参加がありました。（6月7日）



■取材・視察対応等の協力

大韓民国の全州紀全大学より、評議委員長、事務局長のお二人が岸和田サテライトを視察訪問されました。（8月25日）



大阪府内の大学生が「岸和田市のこれから」というルポルタージュを作成するにあたって、岸和田サテライトを取材に訪れました。岸和田サテライトで実施している地域との連携事業を中心に話しました。（10月16日）



和歌山大学新聞会の取材を受けて、岸和田サテライトの事業や地域の方々の利用状況を説明しました。（12月17日）



広島修道大学より、副学長・広島未来協創センター長、人間環境学部長のお二人が岸和田サテライトを視察訪問されました。（3月17日）



---

#### (4) 地域からの問い合わせ対応

2015年4月～2016年3月、電話、電子メール、訪問などによる125件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

##### <主な内容>

- ・本学教員への指導・助言などの要請
- ・本学学生への地域活動などの参加要請
- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- ・サテライトや学内の事業（「わだいな浪切サロン」、各種セミナーなど）について
- ・サテライトの業務内容、業務時間などについて
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- ・教員免許状更新講習について
- ・その他（本学の教育内容など）



## 資料編

### 目次

A-1	開講授業科目一覧（2006年度～2015年度）	24
A-2	履修・受講のべ人数の推移（2006年度～2015年度）	27
A-3	2015年度授業アンケート結果	28
B-1	わだい浪切サロン男女別参加者数・割合の推移（第1回～第80回）	35
B-2	わだい浪切サロン居住地別参加者数・割合の推移（第1回～第80回）	36
B-3	わだい浪切サロン新規参加者数・割合の推移（第1回～第80回）	37
C	2015年度事業告知チラシ	38
D	2015年度岸和田市附属機関委員等の就任状況	42
E-1	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2015年度）	43
E-2	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2015年度）	43
E-3	連携ひろばワダイ×キンワダ会員名簿（2015年度）	44
E-4	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2015年度）	44
D	活動記録	45

A-1 開講授業科目一覧（2006年度～2015年度）

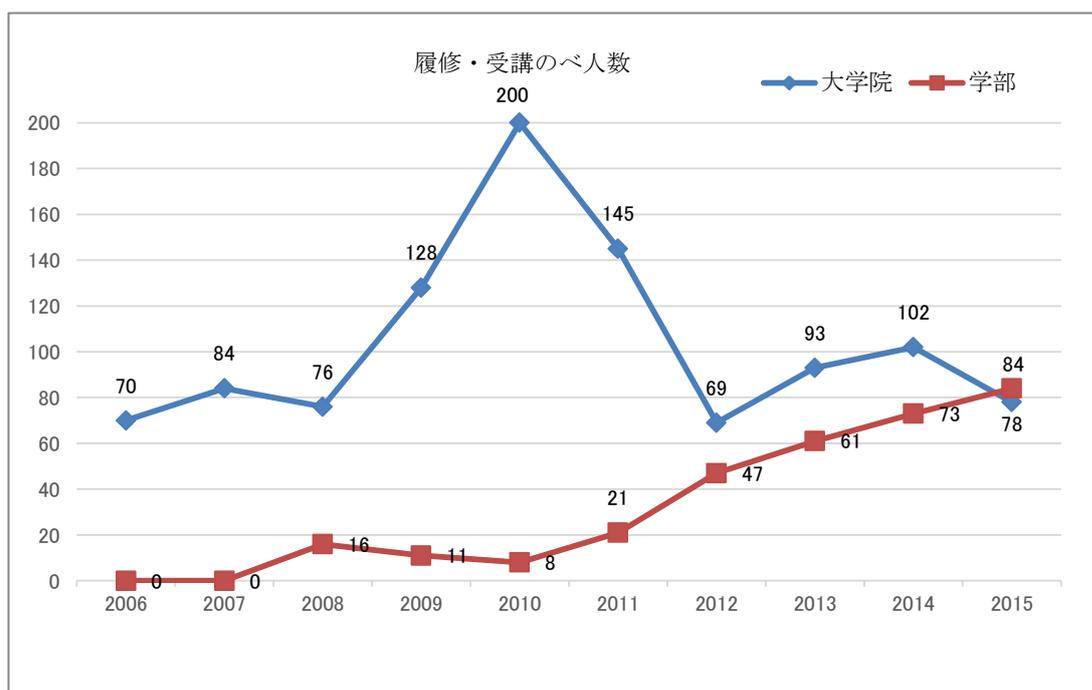
年度	学期	区分	科目名	担当	サテラ イト	正規生	合計	年度合計	
2006	前期	大学院	地域経済論	経済学研究科	12	2	14	70	
			地域政策		10	1	11		
			初等教育特論A	教育学研究科	6	1	7		
	後期	大学院	経営情報処理	経済学研究科	7	1	8		
			地域情報ネットワーク	システム工学研究科	6	1	7		
			企業経営論	経済学研究科	15	2	17		
			初等教育特論B	教育学研究科	6	0	6		
2007	前期	大学院	中心市街地活性化論	経済学研究科	6	3	9	84	
			現代日本経済論		14	3	17		
			公共経営論		9	1	10		
			初等教育特論C	教育学研究科	4	0	4		
	後期	大学院	カントリーライフ学	経済学研究科	14	4	18		
			地域情報ネットワーク	システム工学研究科	5	2	7		
			現代企業経営論	経済学研究科	13	2	15		
学校リスクマネジメント特論A			教育学研究科	4	0	4			
2008	前期	大学院	現代行政作用法	経済学研究科	7	5	12	92	
			経営学特論		15	2	17		
			初等教育特論A	教育学研究科	3	4	7		
	後期	学部	観光一きのう、きょう、あす	観光学部	5	5	10		
			大学院	グローバル経済論	経済学研究科	9	5		14
				自然環境・環境保全研究	システム工学研究科	4	0		4
				現代日本税制論	経済学研究科	3	3		6
				観光まちづくり研究	観光学研究科	6	4		10
				初等教育特論B	教育学研究科	3	3		6
			学部	世紀初等における日本と英国の小説	経済学部	2	4		6
2009	前期	大学院	経営史特論	経済学研究科	13	5	18	139	
			地域産業クラスター論		9	17	26		
			現代日本地方財政論		11	8	19		
			現代の社会政策		9	7	16		
			初等教育特論A	教育学研究科	2	1	3		
	後期	大学院	原価計算論	経済学研究科	5	1	6		
			税法と税務行政	経済学研究科	12	4	16		
			所得課税論	経済学研究科	6	4	10		
			生活環境計画論	システム工学研究科	9	5	14		
			学部	岸和田藩の歴史	教育学部	7	4		11

年度	学期	区分	科目名	担当	サテラ イト	正規生	合計	年度合計
2010	前期	大学院	租税法総論	経済学研究科	7	16	23	208
			現代家族生活と民法		12	19	31	
			都市近郊農業論		8	19	27	
			環境・自然エネルギー革命		6	8	14	
		初等教育特論A	教育学研究科	3	1	4		
	学部	地域とグローバル化	観光学部	4	0	4		
	後期	大学院	資産課税論	経済学研究科	6	19	25	
			現代経営論		10	14	24	
			地方都市の地域づくり		9	23	32	
			地元学特論		2	13	15	
初等教育特論B		教育学研究科	4	1	5			
学部	デザイン情報学入門	システム工学部	3	1	4			
2011	前期	大学院	租税争訟法	経済学研究科	1	14	15	166
			会社法特論		2	12	14	
			地域産業史		5	16	21	
			現代日本中小企業論		9	11	20	
	学部	観光入門	観光学部	11	3	14		
	後期	大学院	法人課税論	経済学研究科	1	18	19	
			地方都市の交通とまちづくり		8	15	23	
			現代企業経営論		5	16	21	
会計学原理		3	9	12				
学部	みんなの科学入門	システム工学部	5	2	7			
2012	前期	大学院	国際租税法特論	経済学研究科	1	10	11	116
			租税法特論		2	1	3	
			会社法特論		1	3	4	
			現代社会と民事紛争		7	8	15	
	学部	日本史の深層	教育学部	12	4	16		
		世界の音楽	観光学部	8	10	18		
	後期	大学院	公共経営論	経済学研究科	9	4	13	
			法人課税論		0	4	4	
現代マーケティング論			3		4	7		
連結会計特論		1	11	12				
学部	身の回りのメカトロニクス機器のしくみ	システム工学部	12	1	13			

年度	学期	区分	科目名	担当	サテラ イト	正規生	合計	年度合計
2013	前期	大学院	国際租税法特殊問題	経済学研究科	3	5	8	154
			租税法特殊問題		4	3	7	
			現代社会と民法		10	10	20	
		学部	デザイン情報学入門	システム工学部	12	3	15	
	地域における博物館活動と図書館活動		附属図書館・紀州研	9	3	12		
	後期	大学院	租税法英米判例特殊問題	経済学研究科	3	7	10	
			法人税法特殊問題		7	5	12	
			公共経済学特殊問題		6	3	9	
			財務諸表論特殊問題		6	7	13	
			政策形成論		4	10	14	
学部		地域環境・自然エネルギー革命	経済学部	15	8	23		
ジェロントロジースポーツ	教育学部	4	7	11				
2014	前期	大学院	租税法英米判例特殊問題	経済学研究科	5	1	6	175
			会社法特殊問題		3	8	11	
			法人税法特殊問題		3	8	11	
			公共経営論		4	11	15	
		学部	高齢化社会の住まいと地域環境	観光・シス工・教育	21	3	24	
	みんなの科学入門		システム工学部	9	1	10		
	後期	大学院	租税争訟法特殊問題	経済学研究科	3	7	10	
			租税法実務特殊問題		4	12	16	
			地方都市の地域マネジメント		10	8	18	
			財務会計論特殊問題		3	12	15	
学部		西ヨーロッパの文学と社会	教育学部	11	5	16		
食と農の経済学	経済学部	12	11	23				
2015	前期	大学院	租税法英米判例特殊問題	経済学研究科	1	4	5	162
			相続税法特殊問題		3	12	15	
			法人税法特殊問題		3	4	7	
			民事紛争とその法的解決		6	12	18	
	学部	市民活動の歴史と課題	教育・経済	12	2	14		
		漱石と大阪	非常勤講師	14	4	18		
	後期	大学院	簿記論特殊問題	経済学研究科	0	7	7	
			租税法実務特殊問題		4	4	8	
			国税通則法特殊問題		1	8	9	
			政策形成論		4	5	9	
学部		地図で地域をみる・発信する	経済・シス工ほか	19	9	28		
		身の回りのデジタル機器のしくみ	システム工学部	7	17	24		
履修・受講者合計								1366

A-2 履修・受講のべ人数の推移（2006年度～2015年度）

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計
大学院	70	84	76	128	200	145	69	93	102	78	1045
学部開放	—	—	16	11	8	21	47	61	73	84	321



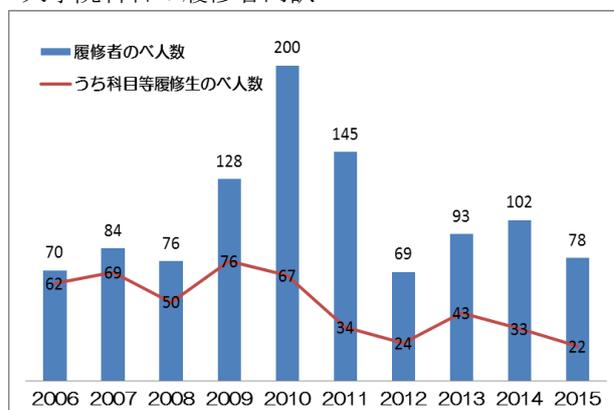
2006年度 大学院経済学研究科・教育学研究科授業開始

2008年度 学部開放授業開始

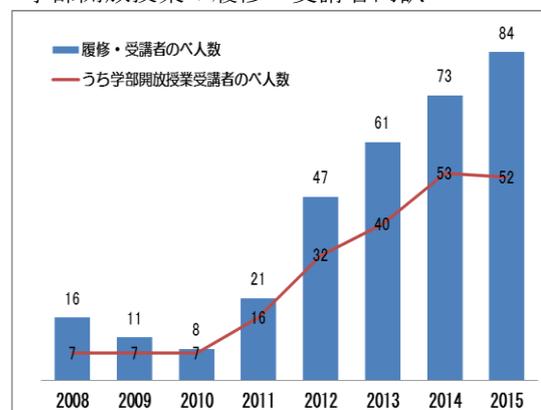
2009年度 大学院経済学研究科修士課程（専門研究Ⅰ：租税法）開始

2011年度 大学院経済学研究科科目の栄谷院生の履修制限実施、大学院教育学研究科科目休止

大学院科目の履修者内訳



学部開放授業の履修・受講者内訳

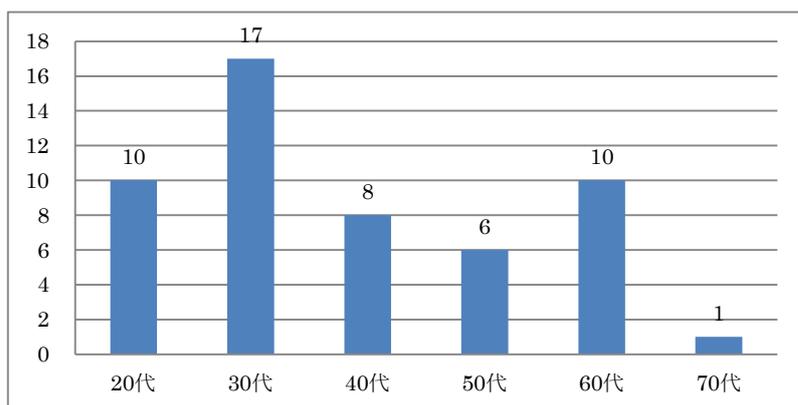


A-3 2015 年度授業アンケート結果

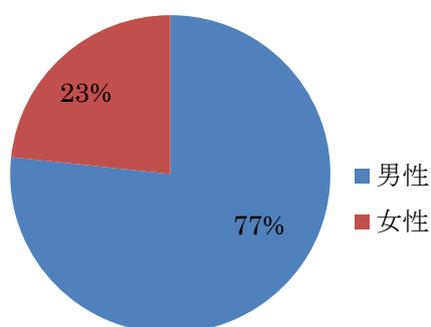
**大学院** 回答数 52 (回収率 67%)

内訳：科目等履修生 17 大学院生 35

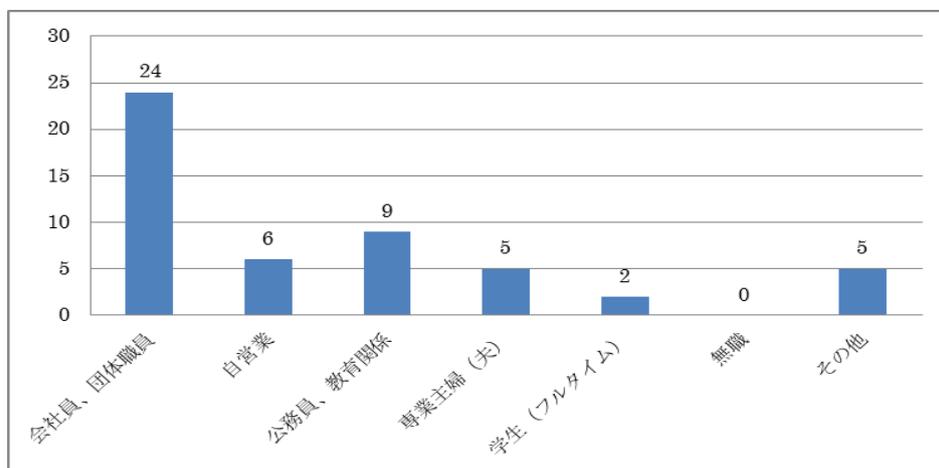
(1) 大学院科目履修者の年齢 (n=52)



(2) 大学院科目履修者の男女比 (n=52)



(3) 大学院科目履修者の職業 (n=52)

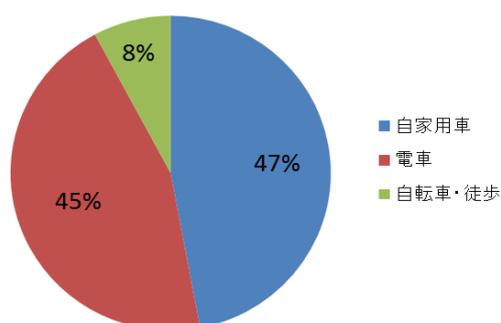


(4) 大学院科目履修者の居住地および勤務地 (n=52)

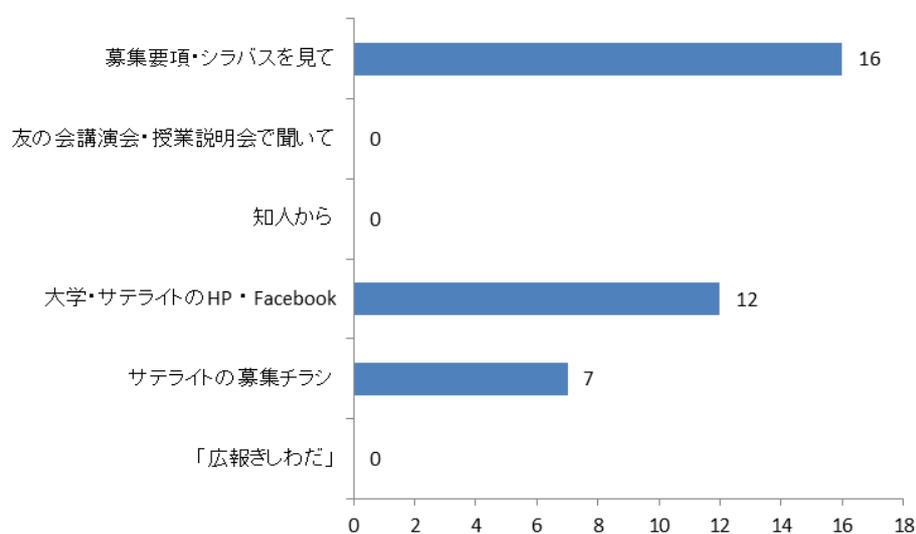
	居住地	勤務地 (現職のみ)
岸和田市	8	4
泉南地域 (貝塚市～岬町)	2	2
泉北地域 (堺市～忠岡町)	8	8
大阪市	7	1 2
その他大阪府内の市町村※	9	3
和歌山県	9	7
兵庫県	2	2
無回答を含むその他	7	7

※和泉市、八尾市、大東市、東大阪市、摂津市

(5) 大学院科目履修者の岸和田サテライトへの通学手段 (n=52)



(6) 大学院授業の開講について知った手段 (複数回答)

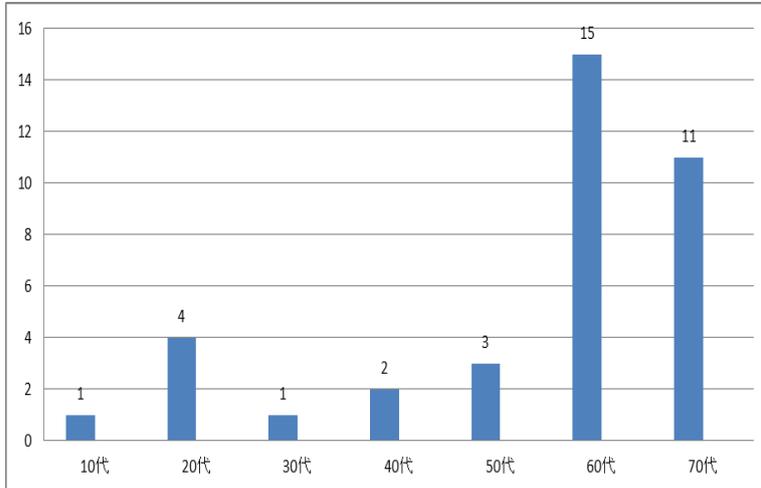


## (7) 大学院授業についての自由記述

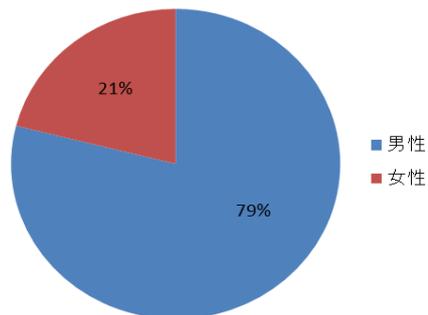
- ・大学院授業を初めて履修し、率直には科目の知識がないなかで聴講するのが精一杯のところもありましたが、学術論文作成のノウハウを説明していただき、後半の研究課題レポート発表へつなげていきたいと思います。(科目等履修生)
- ・実務家の先生方のいろいろなお話が聞けて、とても勉強になりました。こんなに多くの個性豊かな先生方の講義が聞ける機会はめったにないので、貴重な機会をありがとうございました。(科目等履修生)
- ・民法の科目を続けてほしい。(科目等履修生)
- ・社会問題をテーマに扱った科目を希望。(大学院生)
- ・引き続き科目等履修を続け、生涯学習していきたいと思います。(科目等履修生)
- ・栄谷の附属図書館の資料をメールで取り寄せられるようにしてほしい。(大学院生)
- ・募集要項のHP掲載時期を明示してほしい。年間予定を把握したい。(科目等履修生)
- ・自習室のPC環境の改善(大学院生)

学部開放授業 回答数 38 (回収率 45%)

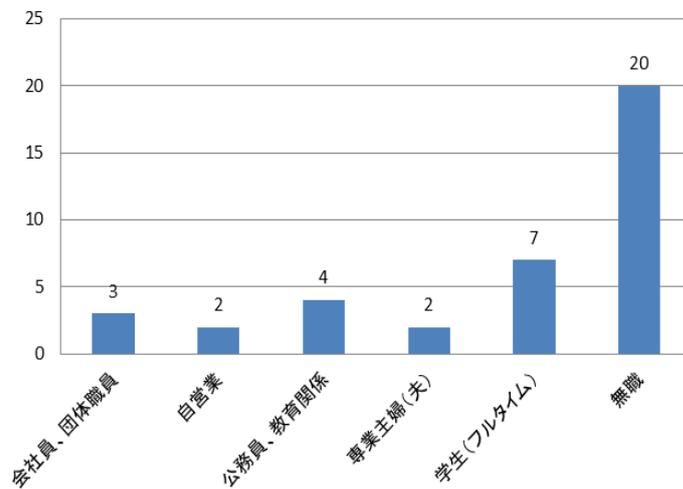
(1) 学部開放授業履修・受講者の年齢 (n=38)



(2) 学部開放授業履修・受講者の男女比 (n=38)



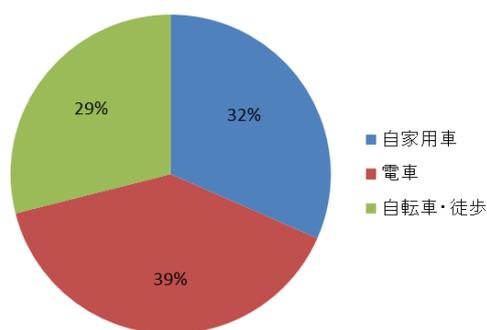
(3) 学部開放授業履修・受講者の職業 (n=38)



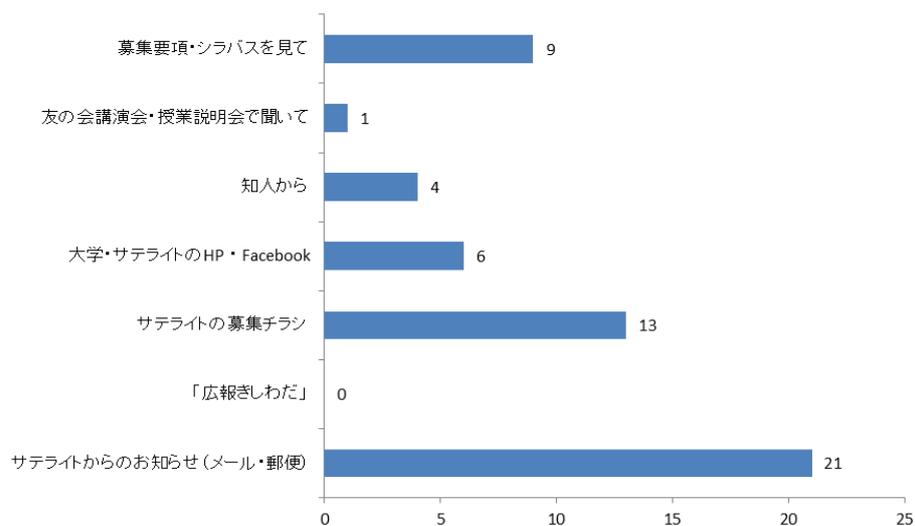
(4) 学部開放授業履修・受講者の居住地および勤務地 (n=38)

	居住地	勤務地 (現職のみ)
岸和田市	1 1	1
泉南地域 (貝塚市～岬町)	1 3	2
泉北地域 (堺市～忠岡町)	1	1
大阪市	3	2
その他大阪府内の市町村※	3	1
和歌山県	3	4
無回答を含むその他	4	1
※東大阪市、河内長野市		

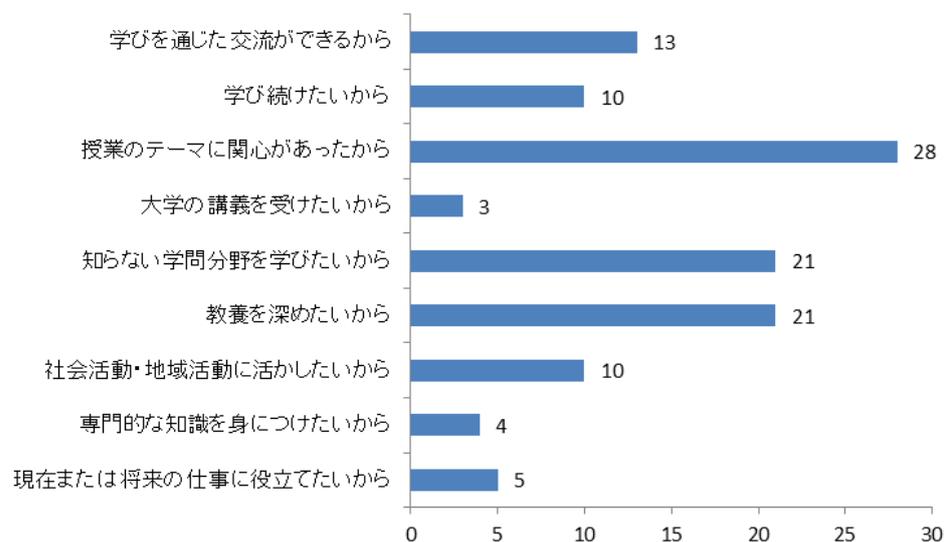
(5) 学部開放授業履修・受講者のサテライトへの通学手段 (n=38)



(6) 学部開放授業の開講について知った手段 (複数回答)



### (7) 学部開放授業の履修・受講の動機（複数回答）



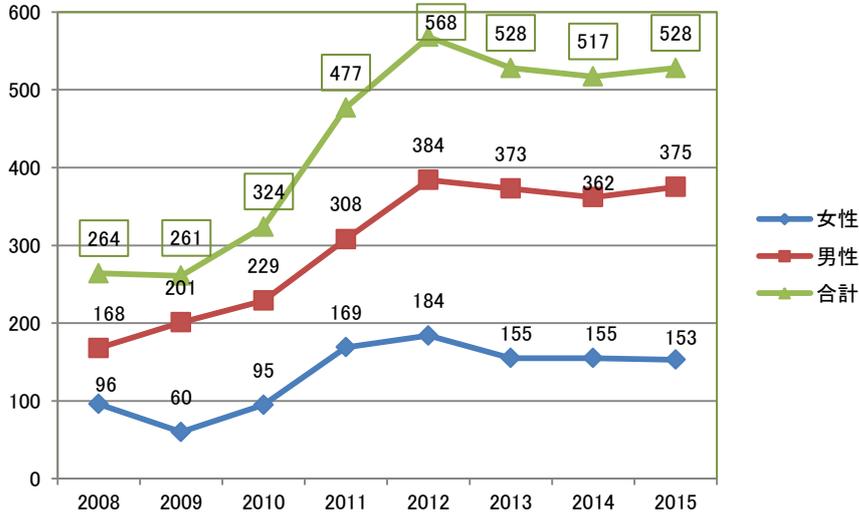
### (8) 学部開放授業についての自由記述

- ・漱石の講演について知り、面白かった。落語を聞きに行き、漱石を違った角度から考察できてよかった。
- ・明治時代の市民運動について知らない出来事が多く、大変参考になった。
- ・一つの授業に複数の先生もいいですね。たくさんしたこと、角度から授業が受けられます。フィールドワークがあるのもいいです。
- ・複数の先生の連携がやや不十分なものを感じる。
- ・社会人の方は余裕のできた方が多いように思います。
- ・学部開放授業があまり知られていない、受講が生活にすぐに役立つなど、時間と費用をかけるメリットがわかりにくい、今解決したい社会の課題などにタイムリーに対応していない、受講手続きが面倒などがあると思います。
- ・パソコンソフトを数種類使用したが、進行が速く、参考書等がなく、理解するのに時間がかかった。
- ・地理分野のコンピューターを駆使しての発展に驚くばかりで、お話の半分の理解度かもしれませんが、続編か、サイトでのフォローがあれば有難いです。
- ・大人数で一斉にパソコンを使用するのは大変だと思います。
- ・使うソフトの数は多くなくていいので、1つのソフトをもう少し長く使ってみたかった。

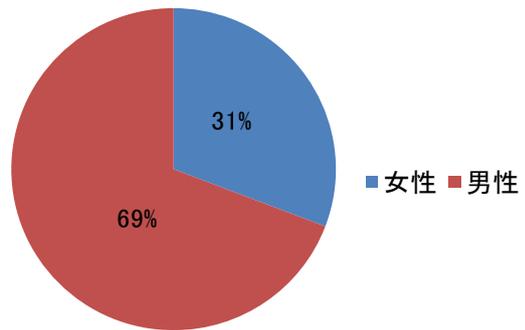
- パソコンを使う授業では、環境の違いによる動作の違い、個人のスキルの差をどのようにまとめるか、今後検討していただきたい。この授業は栄谷（本学）での開講もあり。学部生にとってはぜひとも受講すべき科目だと思う。（社会インフラ整備に GIS は欠かせないものになっているので）、上級編、大学院編を希望します。
- プログラム等の転載可否に関連して、ライセンスに関する講義があるとよい。
- 地図で遊ぶことは、ホイジンガの「ホモ・ルーデンス」にもつながっていて、とても知的な学問です。
- 授業の回数を多くしてほしい。8月～9月、2月～3月にも開講してほしい。
- 一層の発展を願います。
- 丁寧な授業とスタッフの方のご配慮で楽しく学ばせていただきました。

B-1 わだい浪切サロン 男女別参加者数・割合の推移（第1回～第80回）

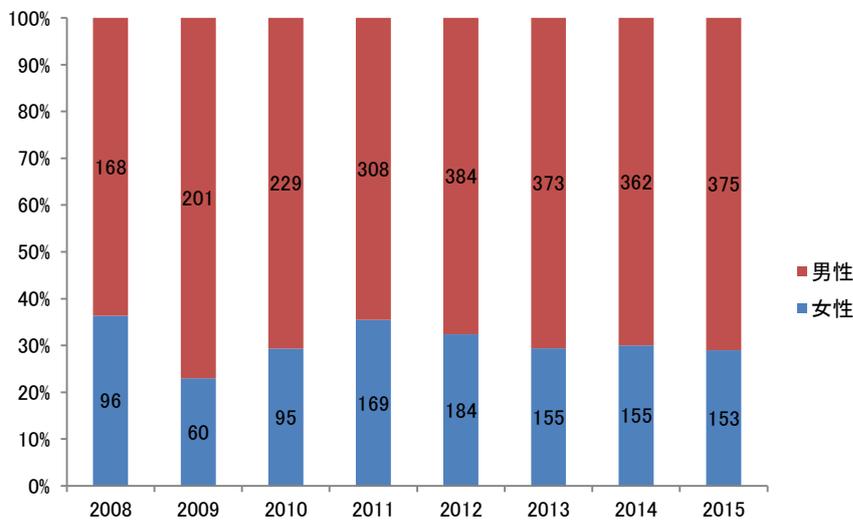
(1) 参加者数（男女別）



2008年度～2015年度	
男	2,400人
女	1,067人
計	3,467人

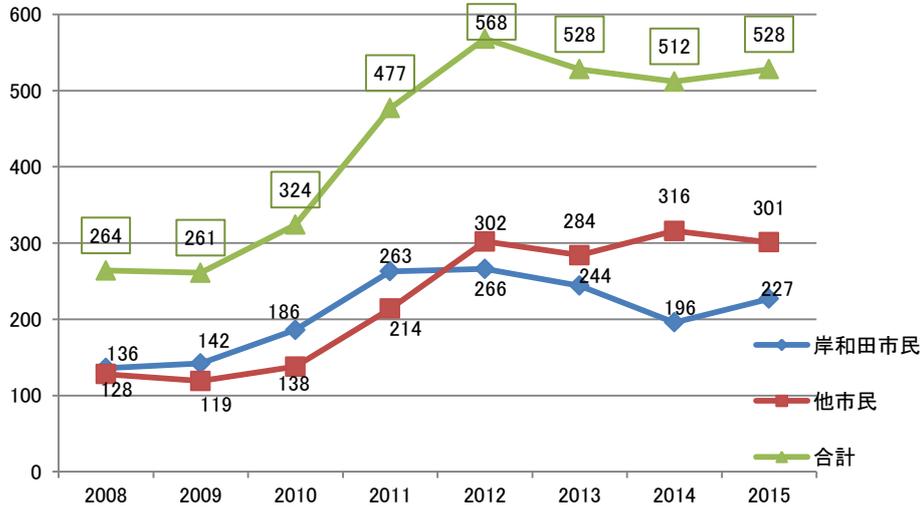


(2) 男女別人数と割合

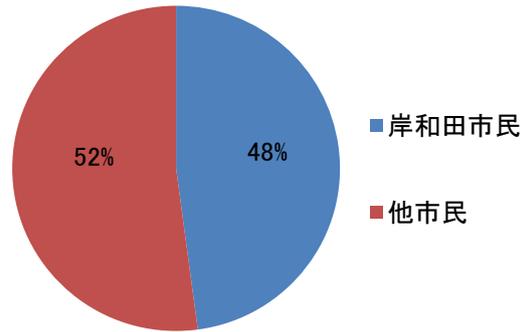


B-2 わだい浪切サロン 居住地別参加者数・割合の推移（第1回～第80回）

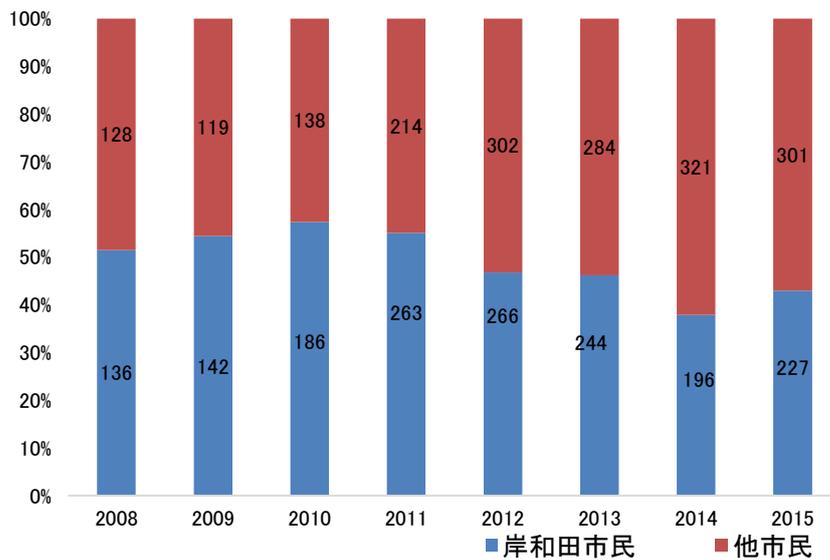
(1) 参加者数（岸和田市民・他市民）



2008年度～2015年度	
岸和田市民	1,660人
他市民	1,807人
計	3,467人

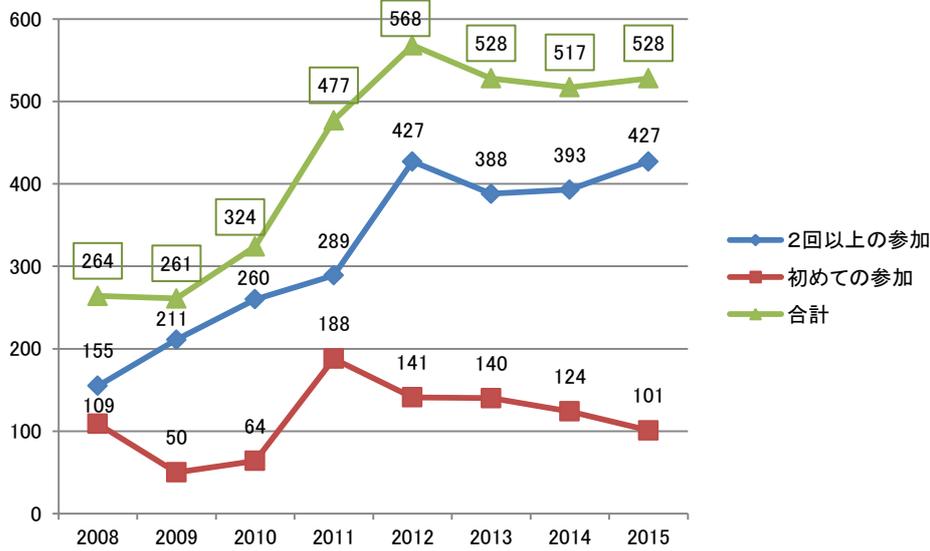


(2) 岸和田市民・他市民の人数と割合

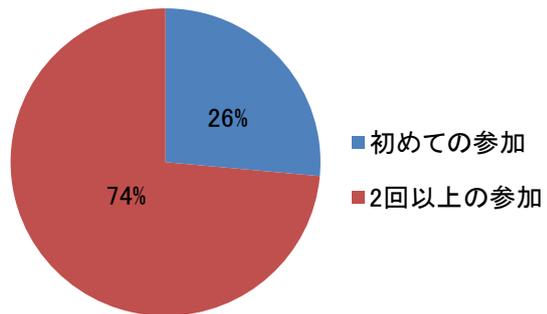


B-3 わだい浪切サロン 新規参加者数・割合の推移（第1回～第80回）

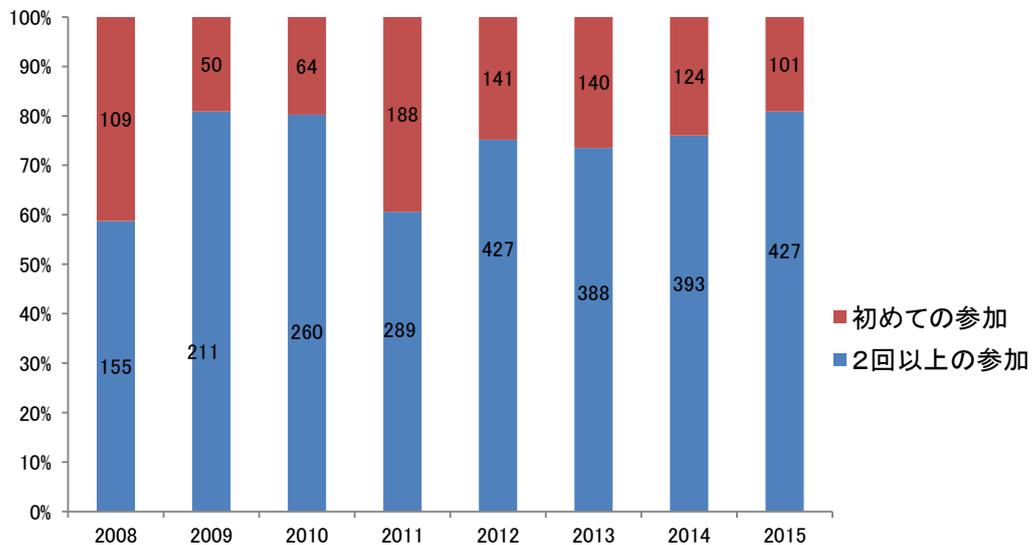
(1) 参加者数（初めての参加・2回以上の参加）



2008年度～2015年度	
初めての参加	917人
2回以上の参加	2,550人
計	3,467人



(2) 初めての参加者数・2回以上の参加人数と割合





第73回 わだいな浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 地元の自然とともに

～二十歳のきしわだ自然資料館～

話題提供者 風間 美穂氏 (きしわだ自然資料館 学芸員)

本年6月1日、きしわだ自然資料館は開館20年を迎えます。この間、博物館相当施設の認定、キシワダワニに関する調査と展示、友の会の発足、きしわだ島のプログラム「サリメンモンスター」の思わぬ反響、台風による浸水被害など、縁もとにいろいろな出来事がありました。そしてこの20年は、今や収蔵庫に収まりきれないくらい多数の標本類と、各分野や地域に広がる人や団体とのつながりをつくることができた年月でもありました。

今回は、地域密着型の小さな博物館「きしわだ自然資料館」のこれまでのあゆみのほか、地元のみならずは普通のことと思っているかもしれないけれど、実はとても特色のある岸和田の「興味深い自然のポイント」についても紹介します。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 6月17日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第73回 わだいな浪切サロン

第74回 わだいな浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 人工知能が浸透する 情報システムの未来

話題提供者 瀧 寛和 (和歌山大学)

情報機器として、スマートフォンやPCが当たり前のようになっている世の中になってきました。この情報機器の便利さを支えている技術に人工知能が活躍しています。

膨大なデータから有用な情報を検索する、たくさんの商品から推薦できる商品を個人の好みを見つけて選ぶ、たくさんのルートから適切な経路を導き出すナビゲーションなど、いつの間にか多くの製品にその機能が組み込まれて利用されています。

この人工知能の仕組みと人の思考の仕組みを比較してみたいと思います。人が任意的に導いた知的な作業にも人工知能の応用が進んできました。知的能力で人を凌駕する時代が来るとの予想についても論じてみたいと思います。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 7月15日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第74回 わだいな浪切サロン

第75回 わだいな浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 都市の情景

～文学にみる格差問題と労働～

話題提供者 前川 真行氏  
(大阪府立大学地域連携研究機構 生涯教育センター准教授)

移り変わる都市の情景といわれて何を思い出すでしょうか。あるときは栄え、あるときは荒れ果てた街並みのように、時代とともに変化する都市の姿でしょうか。都市の誕生も成長も、宗教や文化、ときに言語を興にするさまざまな人びととともにありました。その多くは希望、あるいは野心以外のなにものも持たずじやってくる若者であり、都市はこうした若者たちとあるときは混在入れ、あるときは排斥したのです。いくつかの小説をひとときながら、街角ごとに変わる都市の情景が、こうしたさまざまな色調を興にする複雑な切片から成り立っていることを、もういちど思い出してみたいと思います。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 9月16日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第75回 わだいな浪切サロン

第76回 わだいな浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 消えゆくことばを追って

～言語消滅の危機に対して私たちができること～

話題提供者 遠藤 史 (和歌山大学 生涯教育センター長/経済学部 教授)

現在、地球上では約7,000の言語が話されています。しかし、その20～50%が、今世紀中に消滅、あるいは危機的状況に陥るといっ予断があります。現在の世界の言語の実態はどのようなものなのでしょうか。言語を消滅の危機から救う方法はありますか。

東シベリアで少数民族の言語のフィールドワークを行った経験から、消滅の危機に瀕した言語の状況をお話しします。合わせて、世界各地、そして日本で起こりつつある言語状況の文化を報告します。グローバル化の中で、文化の多様性を守るために、いま私たちに何ができるのか一緒に考えていきたいと思ひます。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 10月21日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第76回 わだいな浪切サロン

第77回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# オープンデータと地域振興

話題提供者 瀧田 成紀  
(システム工学部助教)

情報技術を使った地域振興を促進するために、事業者が進めるオープンデータ戦略が注目されています。オープンデータとは、自治体等が所有する公共データを公開し、住民や企業が自由に使えるようにしたものです。行政と住民と企業が同じオープンデータを共有することで、その地域の課題を共有し、それぞれの立場で解決を図ることができるようになります。

今回は、実際に様々な自治体が提供しているオープンデータを見ながら、その利用価値を検討するとともに、オープンデータを使って地域住民等が作ったアプリや、最近盛り上がりを見せている住民提供のオープンデータを紹介しながら、地域振興において期待されているポイントをお話します。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 11月 18日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト  
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F  
Tel & Fax : 072-433-0875  
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第78回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 思春期の心との向かい方

話題提供者 則定 百合子  
(教育学部准教授)

かつて、「成長痛の時代」と称されたように、大人と子どもの狭間を生きる10代の子どもたちは、とても多感で繊細です。そして、大人はみな、思春期という時代を経験してきたにもかかわらず、いざなると向き合おうとすると、何を話せばいいかわからない、なかなか理解できないことが多いものです。本講座では、そうした思春期特有の悩みや悩み、再今の教育的課題や心理学的な対応の仕方を取りながら、理解を深めたいと思います。

参加無料  
申込不要

日時 平成27年 12月 16日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト  
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F  
Tel & Fax : 072-433-0875  
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第77回 わだい浪切サロン

第78回 わだい浪切サロン

第79回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 憲法判例からみる日本国憲法の現状

話題提供者 森田 佳樹  
(法学部 政治学専攻教授)

日本国憲法が制定されて、ほぼ70年が経過していますが、その改正議論はさきまもなく始まったものの、現実の改正には至りません。しかしながら、憲法規定の解釈はさまざまに変化し、その変化は法的に解決するのに向かっています。

今回のサロンでは、憲法判例からその変化のありかたを、現実の社会にどのように憲法が活かされているのかという観点から、いろいろと考えてみたいと考えています。「生きる」生活の姿をお話できればと考えています。

参加無料  
申込不要

日時 平成28年 1月 20日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト  
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F  
Tel & Fax : 072-433-0875  
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第79回 わだい浪切サロン

第80回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# ワイドショーより面白い幕末明治の浮世絵

話題提供者 菅原 真弓  
(「教養の森」センター准教授)

「江戸文化」のイメージが強い浮世絵ですが、実はこれが終焉を迎えるのは、日露戦争(明治37-38年)が終わった後のこと、浮世絵はそもそも「浮世」(=現世)を諷刺するものでした。最新流行の服装や書きとめた浮世絵は、当初からワイドショーとしても観覧します。そんな背景を踏まえて幕末明治初期に描き出したのは、たゞは突然現れた人たちが書いたものでもなく、浮世絵や華道関係、新しいメディアである新聞とら関係するものも含まれます。現代の三浦記博やワイドショーなど通かに観覧した「とんでないメディア」であった幕末明治初期の浮世絵について、豊富なスライド画像とともにお話します。

参加無料  
申込不要

日時 平成28年 3月 16日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト  
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F  
Tel & Fax : 072-433-0875  
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第80回 わだい浪切サロン

平成 27 年度 岸和田サテライト友の会夏季講演会  
※岸和田サテライト友の会は、サテライトで活動中の友の会支部の総称です。

**7/25 土**  
 岸和田市立浪切ホール  
 4 階 研修室 1

**1. 友の会活動報告 14:20 ~ 14:35**  
 館谷 納氏  
 昨年度の夏季講演会（災害時の避難者への対応）の内容や、今年度の岸和田市民フェスティバルに参加した様子（身近なものを使った防災グッズの紹介、ツナ缶ランプの実演やゴミ袋カッパの制作など）をお話します。

**2. 講演 14:40 ~ 16:10**  
**相続制度と相続税・贈与税のあらまし**  
 講師 田中 将氏  
大阪学院大学法学研究科教授・元和歌山大学経済学部客員准教授  
 田中公認会計士事務所所長 / 公認会計士・税理士  
**参加無料 要申込**

本年（平成 27 年）1 月以降に開始する相続等に関する相続税については、基礎控除額が大幅に縮小されたことに伴い、納税義務者数が増加することが見込まれているなど、相続税に対する関心が高まっています。しかし一方で相続税は、必ずしも一概に納税額が重い税金とは言えません。そこで、相続税及び相続税と密接な関係をもつ贈与税について、それらの計算の前提となる民法上の規定や事例などにも触れつつ、そのあらましを解説します。

**3. 後期開講授業説明 16:10 ~ 16:20**  
 平成 27 年度後期に岸和田サテライトで開講する大学院授業（4 科目）・学部授業（2 科目）について説明します。募集要項も配布します。

どなたでも参加できます。7 月 22 日（水）速に下記までお申込みください。

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市津脚町 1-1 浪切ホール 2F  
 ☎・Fax 072-433-0875 岸和田サテライト 検索  
 e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

岸和田サテライト友の会夏季講演会

平成 27 年度 友の会冬季講演会  
和歌山大学 岸和田サテライト

**2/13 土**  
 14:00 ~ 16:15  
 岸和田市立浪切ホール  
 4 階 研修室 1

**「地域防災とまちづくり」** **参加無料 申込必要**

◆講演 1  
**地図のチカラ！** 14:00 ~ 15:00  
地理情報システム  
**GIS と防災・まちづくり**  
 人と防災未来センター研究主幹 照本 清峰 氏  
 災害発生後の地図の活用事例をふまえて、災害対応のイメージと地図利用の関係性について話します。それらを踏まえ、防災・まちづくりに関する地図の作成とその要素について考えます。

◆講演 2  
**岸和田市の耐震化の取り組み** 15:10 ~ 15:40  
岸和田市まちづくり推進部 建設指導課  
 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、古い木造住宅の耐震化を進めています。全国的にもなかなか進みません。そこで、独自の耐震パッチ事業の導入や耐震シェルター実物大展示などの耐震化の啓発活動について考えます。

◆質疑応答 15:40 ~ 16:00

平成 28 年度前期開講科目説明会 16:00 ~ 16:15  
4 月～7 月に岸和田サテライトで開催する大学院・学部授業について案内します。

申込先：和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市津脚町 1-1 浪切ホール 2F  
 Tel・Fax 072-433-0875  
 e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

岸和田サテライト友の会冬季講演会

D 2015年度岸和田市附属機関委員等の就任状況

附属機関名	教員名	所属
環境審議会	原 祐二	システム工学部准教授
環境審議会	吉田 登	システム工学部教授
子ども子育て会議	米澤 好史	教育学部教授
建築審査会	足立 基浩	経済学部教授
開発審査会	堀田 祐三子	観光学部教授
景観審議会	堀田 祐三子	観光学部教授
産業活性化推進委員会	藤田 和史	経済学部准教授
公共施設マネジメント検討委員会	足立 啓	システム工学部教授
公共施設マネジメント検討委員会	大井 達雄	観光学部准教授
都市政策研究アドバイザー（統計分析）	大井 達雄	観光学部准教授
都市政策研究アドバイザー（空き家対策）	藤田 和史	経済学部准教授
総合戦略策定アドバイザー	藤田 和史	経済学部准教授
生物多様性地域戦略部会	中島 敦司	システム工学部教授
中学校給食準備委員会	加藤 芳伸	教育学部特任教授

E-1 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2015年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	瀧 寛和	市長	信貴芳則
理事 (教育学生支援担当)	池 際博行	副市長	大原好照
理事 (産学連携、国際交流)	呉 海元	副市長	根来喜之
副学長	森口佳樹	教育長	樋口利彦
地域連携・生涯学習センター 副センター長	金子泰純	産業振興部長	小山藤夫
岸和田サテライト長	藤田和史	学校教育部長	須賀俊介
岸和田副サテライト長	片山聡一郎	生涯学習部長	松阪正登
総務課地域連携室長	西川博紀	企画調整部長	森口茂樹
		企画調整部 政策企画課長	藤浪秀樹

E-2 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2015年度）

和歌山大学		
岸和田サテライト長（経済学部准教授）	藤田和史	代表委員
岸和田副サテライト長（教育学部教授）	片山聡一郎	
総務課地域連携室長	西川博紀	
総務課地域連携室地域連携係長	森本充昭	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	神谷千春	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	西田喜一	
岸和田市		
企画調整部政策企画課長	藤浪秀樹	代表委員
企画調整部政策企画課職員	橋本純	
企画調整部政策企画課職員	井元智美	
企画調整部政策企画課職員	酒井久仁子	

E-3 連携ひろばワダイ×キシワダ 会員名簿 (2015年度)

	所 属	氏 名 (敬称略)
会員	いずみの農業協同組合	村 中 正 俊
会員	岸和田商工会議所	西 岡 數 房
会員	大阪鉄工金属団地協同組合	原 山 充 弘
会員	岸和田市観光振興協会	武 田 吉 清
会員	岸和田市立浪切ホール	近 松 健 二
会員	特定非営利活動法人ラヂオきしわだ	梶 野 昭 太 郎
会員	和歌山大学岸和田サテライト友の会	鱧 谷 納

E-4 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿 (2015年度)

職 名	所 属	氏 名
サテライト長	経済学部准教授	藤 田 和 史
副サテライト長	教育学部教授	片 山 聡 一 郎
地域連携コーディネーター	総務課地域連携室	神 谷 千 春
地域連携コーディネーター	総務課地域連携室	西 田 喜 一
事務担当	総務課地域連携室	梅 田 由 美

## F 活動記録

(場所の記載のないものは岸和田サテライト)

### ■2015年4月

- 06 岸和田市民フェスティバル説明会  
(岸和田市職員会館)
- 11 友の会幹事会
- 15 第71回わだいな浪切サロン
- 19 岸和田サテライト友の会
- 22 第1回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 29 岸和田市民フェスティバル準備(中央公園)

### ■5月

- 02 岸和田市民フェスティバル設営(中央公園)
- 03 岸和田市民フェスティバル(中央公園)
- 15 「岸和田市山手のまちづくり研究」第5回研究会  
(和歌山大学)
- 16 友の会幹事会
- 20 第72回わだいな浪切サロン
- 22 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)
- 23 学部開放授業「漱石と大阪」現地学習(堺市)

### ■6月

- 04 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第1回研究会(岸和田市役所)
- 07 大学説明会 in 岸和田取材(浪切ホール)
- 08 第18回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会  
(岸和田市役所)
- 15 「岸和田市山手のまちづくり研究」第6回研究会  
(和歌山大学)
- 17 第73回わだいな浪切サロン
- 19 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)
- 22 「岸和田市山手のまちづくり研究」第7回研究会  
(現地調査:岸和田市内)
- 30 岸和田市イメージ調査(和歌山大学)

### ■7月

- 04 学部開放授業「漱石と大阪」現地学習(大阪市)
- 10 市立産業高校経済学部見学同行取材(本学経済学部)  
「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第2回研究会(岸和田市役所)
- 11 友の会幹事会
- 16 第74回わだいな浪切サロン
- 25 友の会夏季講演会(浪切ホール)

### ■8月

- 04 大阪中学生サマーセミナー(浪切ホール)
- 21 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)
- 25 大韓民国全州紀全大学からの視察対応  
(岸和田会場・浪切ホール)
- 29-30 社会教育推進全国協議会、第55回社会教育研究全国  
集会(盛岡市)

### ■9月

- 11-12 地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実  
践セミナー(上田市)
- 16 第75回わだいな浪切サロン
- 25 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)

### ■10月

- 01 「岸和田市山手のまちづくり研究」第8回研究会
- 05 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第3回研究会(岸和田市役所)
- 21 第76回わだいな浪切サロン
- 26 第2回企画運営委員会(和歌山大学)
- 29 「岸和田市山手のまちづくり研究」第9回研究会
- 30 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)
- 31 友の会幹事会

### ■11月

- 09 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第4回研究会(岸和田市役所)
- 12 大阪府立大学「地域文化学」での報告(大阪府立大学)
- 14 友の会幹事会
- 16 COC+学内説明会(和歌山大学)
- 18 第77回わだいな浪切サロン
- 20 岸和田市協働推進チーム会議(市立公民館)
- 27 「岸和田市山手のまちづくり研究」視察調査  
(加古川市)

### ■12月

- 08 関西産業人材シンポジウム(大阪市)
- 13 南紀熊野サテライト10周年記念イベント(田辺市)
- 16 第78回わだいな浪切サロン
- 17 和歌山大学新聞会取材対応
- 25 第3回企画運営委員会(岸和田市役所)

■2016年1月

- 18 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第5回研究会（岸和田市職員会館）
- 20 第78回わだいな浪切サロン
- 22 岸和田市協働推進チーム会議（市立公民館）
- 23 友の会幹事会
- 30 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー（浪切ホール）

■2月

- 13 友の会冬季講演会（浪切ホール）
- 15-17 「地域調査研究」フィールドワーク（岸和田市内）
- 20 市民活動ステーション拡大版「コラボラ」出展  
（市立産業会館）
- 26 協働推進チーム会議（市立公民館）

■3月

- 04 岸和田市自治基本条例・協働推進員会議  
（岸和田市職員会館）
- 12 友の会幹事会
- 16 第80回わだいな浪切サロン
- 18 岸和田市協働推進チーム会議（市立公民館）  
地方創生フォーラム（東京千代田区）
- 22 「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究」  
第6回研究会（岸和田市職員会館）
- 24 第4回企画運営委員会（和歌山大学）

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2015

(平成 27 年度)

発行日 2016 年 3 月 31 日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/ki shiwada/>

